

サイム・ダービー(SIME)

新型コロナウイルスの影響懸念も、インダストリアル事業の受注残、および高級車需要の高まりが業績牽引へ

マレーシア | 自動車卸売 | 業績フォロー

Bloomberg SIME:MK | REUTERS SIME.KL

- 2/26発表の2020/6期1H(7-12月)は、売上高が前年同期比7.8%増、純利益が同2.6%減、コア純利益が同36.6%増だった。
- セグメント別のコアPBITでは、インダストリアル事業が同36.3%増、自動車事業が同23.1%増となり、両事業が業績を牽引した。
- 新型コロナウイルスの影響が懸念されるが、インダストリアル事業の受注残、および長期的な高級車需要の高まりが業績を支えよう。

What is the news ?

2/26発表の2020/6期1H(7-12月)は、売上高が前年同期比7.8%増の196.85億MYR、営業利益に持分法投資利益を加えた税引き前・金融収支控除前利益(PBIT)が同20.9%増の8.27億MYR、純利益が同2.6%減の5.28億MYR。ただし、金融資産の公正価値変動損益、外国為替換算損益、不動産開発のイースタン・オリエンタルへの出資に係る減損損失、および前年同期に計上した中国の合弁会社Weifang Port Services株式の売却損失の反動増などの一時的要因の影響を除くコアPBITは同29.0%増の8.59億MYR、コア純利益が同36.6%増だった。インダストリアル事業におけるオーストラリアの増収増益、および自動車事業における中国・香港・マカオ・台湾の増収増益が業績に寄与した。

セグメント別の業績は以下の通り。①インダストリアル事業は、売上高が前年同期比16.7%増の79.71億MYR、コアPBITが同36.3%増の5.66億MYR。オーストラリアでは、鉱業・建設セクター向け建設機械の引渡し増加が増収に寄与したほか、2018/12に買収したハードクロム社が利益面で貢献した。②自動車事業は、売上高が同3.4%増の115.69億MYR、コアPBITが同23.1%増の2.77億MYR。中国のBMW、および香港のロールスロイスとスズキの販売台数増加が増収に寄与した他、中国においてディスカウント販売を減らしたことが利益率の向上に貢献した。③ロジスティクス事業は、売上高が同20.1%減の1.50億MYR、コアPBITが同50.0%減の1,300万MYR。④ヘルスケア事業は、コアPBITが同6.7%増の3,200万MYR。

How do we view this ?

インダストリアル事業の2019/12末の受注残高が前四半期末比15.4%増の28.68億MYRと堅調に推移しているが、新型コロナウイルスの影響により建設機械やその部品の供給が滞ることが懸念される。自動車事業においても新型コロナウイルスの影響により中国の販売台数の落ち込みが予想されるが、長期的には高所得者の増加に伴い、富裕層向けの高級車需要が高まろう。3Q(1-3月)にはBMW X1、BMW X6、およびMINI BEVがマレーシアで、ポルシェ・マカンGTSがオーストラリアとニュージーランドで新モデルのローンチ予定である。2020/6通期の市場予想は、売上高が前期比1.3%減の356.97億MYR、当期利益は同2.3%減の9.26億MYR。

業績推移

※参考レート 1MYR=25.06円

事業年度	2017/6	2018/6	2019/6	2020/6F	2021/6F
売上高(百万MYR)	31,087	33,828	36,156	35,697	37,046
当期利益(百万MYR)	2,562	1,971	948	926	992
EPS(MYR)	0.37	0.28	0.14	0.14	0.14
PER(倍)	5.08	6.71	13.43	13.43	13.43
BPS(MYR)	5.82	2.11	2.16	2.22	2.28
PBR(倍)	0.32	0.89	0.87	0.85	0.82
配当(MYR)	0.23	0.06	0.09	0.09	0.09
配当利回り(%)	12.23	3.19	4.79	4.79	4.79

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(MYR)	0.09	(予想はBloomberg)
終値(MYR)	1.88	2020/4/7

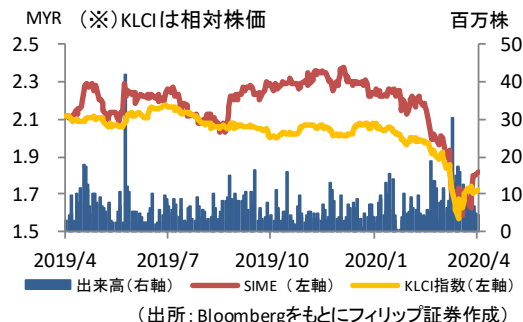
会社概要

1910年にスコットランドの冒険家ウィリアム・ミドルトン・サイム、イングランドの銀行家ヘンリー・ダービーにより天然ゴム栽培企業として設立。現在は、インダストリアル事業、自動車事業、ロジスティクス事業、ヘルスケア事業の4事業を営む。

①インダストリアル事業は、重機・建設機械ビジネスのリーダーとして、キャタピラーをはじめ幅広いブランドを扱うほか、ソリューションサービスも提供する。②自動車事業は、BMW、ジャガー、ランドローバー、ポルシェなどに代表される高級ブランドから、フォードやヒュンダイなど一般向けブランドなども手掛ける。輸入・組立から流通、小売、レンタルに至るまで、自動車ビジネスのあらゆる面に積極的に関与している。③ロジスティクス事業は、中国山東省の伊坊港の主要オペレーターであり、済寧大運河沿いに3つの主要な港を所有している。④ヘルスケア事業は、マレーシアとインドネシアで展開しており、この地域の医療の最前線の先駆的なヘルスケアを提供している。

企業データ(2020/4/8)

ベータ値	1.24
時価総額(百万MYR)	12,787
企業価値=EV(百万MYR)	17,022
3ヵ月平均売買代金(百万MYR)	16.9



主要株主(2020/4)

1.AMANAH SAHAM NASIONAL BHD	41.21
2.EMPLOYEES PROVIDENT FUND BOARD	10.36
3.KUMPULAN WANG PERSARAAN	7.38

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

笹木 和弘
 kazuhito.sasaki@phillip.co.jp
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>